

Life partner Arena（兵庫県立総合体育館）・兵庫県立海洋体育館
指定管理者候補者の選定について

1 選定方法

(1) 資格審査

全応募者が応募要件を満たし、指定管理料の提案が上限以内であることを確認

(2) 選定委員会における審査

公平・公正な選定を確保するため、外部委員を含む委員5名で構成する「兵庫県立体育施設指定管理者候補者選定委員会」を設置し、応募者の提案内容を総合的に審査

1次審査：応募書類による書類審査

2次審査：ヒアリングによる総合的審査

※ Life partner Arena、海洋体育館ともに応募者が5者以下であったため、審査要領に基づき1次審査を省略

【兵庫県立体育施設指定管理者候補者選定委員】

氏名	役職等	備考
山口 泰雄	神戸大学 名誉教授	委員長
宇田 名保美	ADU 株式会社 代表取締役、中小企業診断士	
太田 はるよ	一般社団法人兵庫県子ども会連合会副理事長	
高見 彰	関西国際大学経営学部経営学科教授	
長谷川 つち代	兵庫県スポーツ推進委員会女性委員長	

2 指定管理期間

2025年4月1日～2030年3月31日（5年間）

3 候補者の選定結果

(1) Life partner Arena

順位	応募者	審査点（110点満点）※
1	ひょうごスポーツライフグループ （代表者）国際ライフパートナー株式会社 （構成員）コナミスポーツ株式会社 アシックススポーツファシリティーズ株式会社	82.6点
2	県総みらい創造グループ （代表者）株式会社ウエルネスサプライ （構成員）日之出管財株式会社	81.8点
3	HOS・日本管財兵庫グループ （代表者）HOS株式会社 （構成員）天正株式会社 日本管財株式会社	73.0点

※審査点は2次審査の得点

【選定理由】

- ① コロナ禍前の水準を上回る年間施設利用者 60 万人を達成するために、柔道整復師など国家資格を有するスタッフを配置し、トレーニングルームの充実を図るなど、目標値と目標達成までのプロセスが明確化されており、今後の事業展開に大きな期待がもてる。
- ② 構成企業がもつスポーツ工学研究所が開発したキッズスポーツラボやシニアウォーキングラボなど、子どもやシニア向けの具体的な事業提案がなされており、新規利用者獲得に期待がもてる。
- ③ 代表企業は、本施設の管理運営に9年以上携わっているだけでなく、全国各地で類似スポーツ施設を複数運営しており、これらの経験を活かすことで、県内のスポーツ施設の中で中核的な役割を担うことが期待できる。

(2) 海洋体育館

順位	応募者	審査点 (110 点満点) ※
1	公益財団法人兵庫県スポーツ協会	77.4 点

※審査点は2次審査の得点

【選定理由】

- ① じゃらん net や Instagram など、若年層をターゲットにした広報戦略を行う提案がなされており、若者の口コミによる利用者数の拡大など、さらなる集客に期待がもてる。
- ② オリンピアンとの事業連携など、レガシー施設としての特性を十分に活かした積極的な事業提案がなされており、今後の事業展開に期待がもてる。
- ③ 県内各地で類似施設を複数運営しており、これらの経験を活かすことで、安定した施設運営だけでなく、これまでにない新たな施設運営についても期待できる。